

今を大切に。

杉山(矢崎)陽子 (沖縄科学技術大学院大学 准教授)

仕事の内容とやりがい

キンカチョウの歌学習を用いて、臨界期と呼ばれる発達期に「聴く」という経験が彼らの脳内の神経回路にどのような影響を与えているのか研究室の仲間たちと研究しています。研究室を昨夏に立ち上げたばかり、迷うことも不安になることもありますが、自分の研究室を立ち上げ、研究をすることを楽しんでいきます。

新しい大学院なので研究以外にも立ち上げなくてはならないことが多くあり、大変と思う反面、新しく何かを作り出す場に立ち会っていることを嬉しくも思っています。

進路決定のきっかけ

高校生のころから生物の授業は大好きでしたが「絶対に研究者になる」などと言うことは一度も思ったことはありません…。その時、一番興味があったもの、目の前にあるものを一生懸命やってきた末の現在です。いい加減な性格ゆえ「なるがまま」です。ただ、大学院の修士課程の卒業を前にこれ以上学生を続けるのは経済的に難しいと思っていた私に研究が好きなら続けなさい、と言って研究助手にして下さった恩師が居て下さったこと、その後も様々なアドバイザーとの出会いがあったお陰で今があることは間違いありません。

仕事と生活のバランス

欲張りなので何でもやろうと思う結果、全ていい加減な上、かなりタイトな状態になっています。それでも「意外になんとかになっている」と私自身は思っているのですが(全て欲張っているのに意外にバランスはいい!?)、周りはどう思っているのか不明です…。それでも文句ひとつ言わずに協力してくれる家族、受け入れてくれる職場の人たち、支えてくれる友人たちには感謝、感謝です。まさに「皆様のお陰です!」

進路選択に対してのメッセージ

学生のうちからはっきりとした将来へのビジョンを持つことは難しいと思います。これ、といった何かがなくとも目の前のことを一生懸命やっていたらそこから見えてくることがあると思います。焦らず、今を大事に頑張ってくださいと思います。



<杉山(矢崎) 陽子 (すぎやま (やさき) ようこ) プロフィール>

- 1999年 上智大学神経動物行動学博士課程修了
- 1996-1999年 上智大学生命科学研究所 リサーチアシスタント
- 1999-2002年 上智大学生命科学研究所 ポストドクトラルフェロー
- 2001-2003年 デューク大学神経生物学 ポストドクトラルフェロー
- 2003-2010年 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター ポストドクトラルフェロー
- 2007-2010年 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター 客員研究員
- 2007-2010年 独立行政法人科学技術振興機構 CREST ポストドクトラルフェロー
- 2010-2011年 年独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター ポストドクトラルフェロー
- 2011年～ 沖縄科学技術大学院大学 臨界期の神経メカニズム研究ユニット准教授